

平成27年6月22日

広島国道事務所からの
お知らせ

同時資料提供先: 合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、
中国地方建設記者クラブ

東広島・呉自動車道（馬木IC^{うまき}～黒瀬IC^{くろせ}）の開通により 定時性が確保され、地域間のアクセス性向上！

～人・物の移動時間短縮により地域が活性化～

3月15日に開通した、東広島・呉自動車道（馬木IC^{うまき}～黒瀬IC^{くろせ}間の延長8.8km）
の開通1ヶ月後の利用交通量及びストック効果についてお知らせします。

① 全線開通後の利用交通量について

・ 今回の開通区間に並行する一般国道375号の利用交通量は約4割減少しました。

（開通前）：約20,800台/日 ⇒ 東広島・呉自動車道：（開通後）約12,200台/日

（平成26年10月30日（木）調査） ⇒ 一般国道375号：（開通後）約12,900台/日
（平成27年5月14日（木）調査）

② 渋滞状況について

・ 一般国道375号の利用交通量が減少したことにより、上黒瀬交差点^{かみくろせ}で発生していた渋滞が解消しました。

・ 一方、東広島・呉自動車道と一般国道185号が接続する先小倉交差点^{さきおぐら}では、依然として渋滞が発生しています。

③ 広島空港へのアクセス性が向上し、便数増加（2便増）

・ 東広島・呉自動車道の全線開通により、エアポートバス「呉広島空港線」の呉駅から広島空港までの運行時間は約12分短縮。定時性も確保され、効率的な移動が可能となり、利用者の増加につながっています。

※今後も引き続き調査を行い、効果を検証していきます。

〈問合せ先〉

国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所 TEL(082)281-4131 FAX(082)286-7897

副所長 福代 智之（ふくしろ ともゆき）

【担当】計画課長 梅林 幾彦（うめばやし いくひこ）

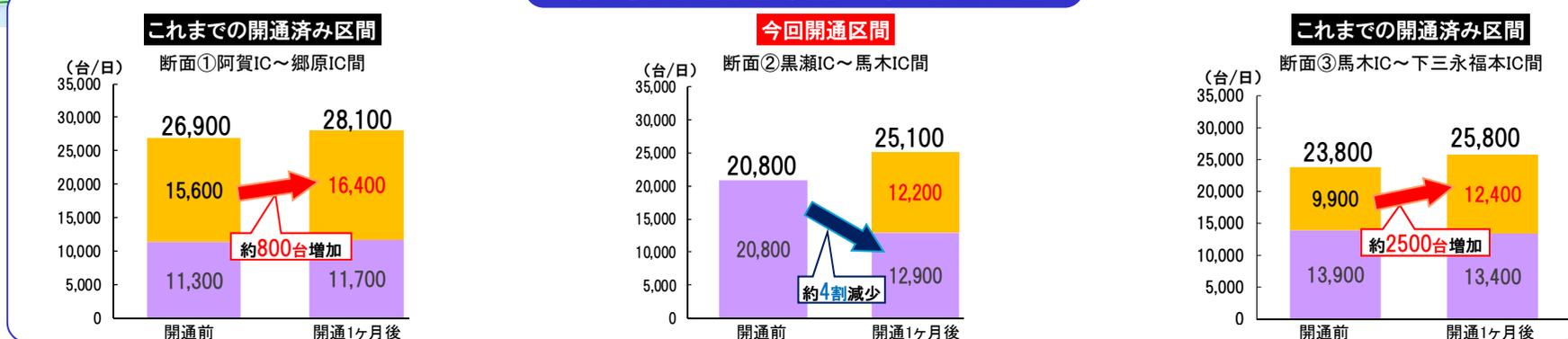
ひろこくホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/index.html>

①利用状況 全線開通後の利用交通量について

- ・東広島・呉自動車道の今回開通区間の開通1ヶ月後の利用交通量は約12,200台/日です。
- ・今回開通区間に並行する一般国道375号の利用交通量は約4割(約7,900台/日)減少しています。
- ・このたびの開通により、前後区間の東広島・呉自動車道利用交通量も増加しています。



東広島・呉自動車道と国道375号の利用交通量

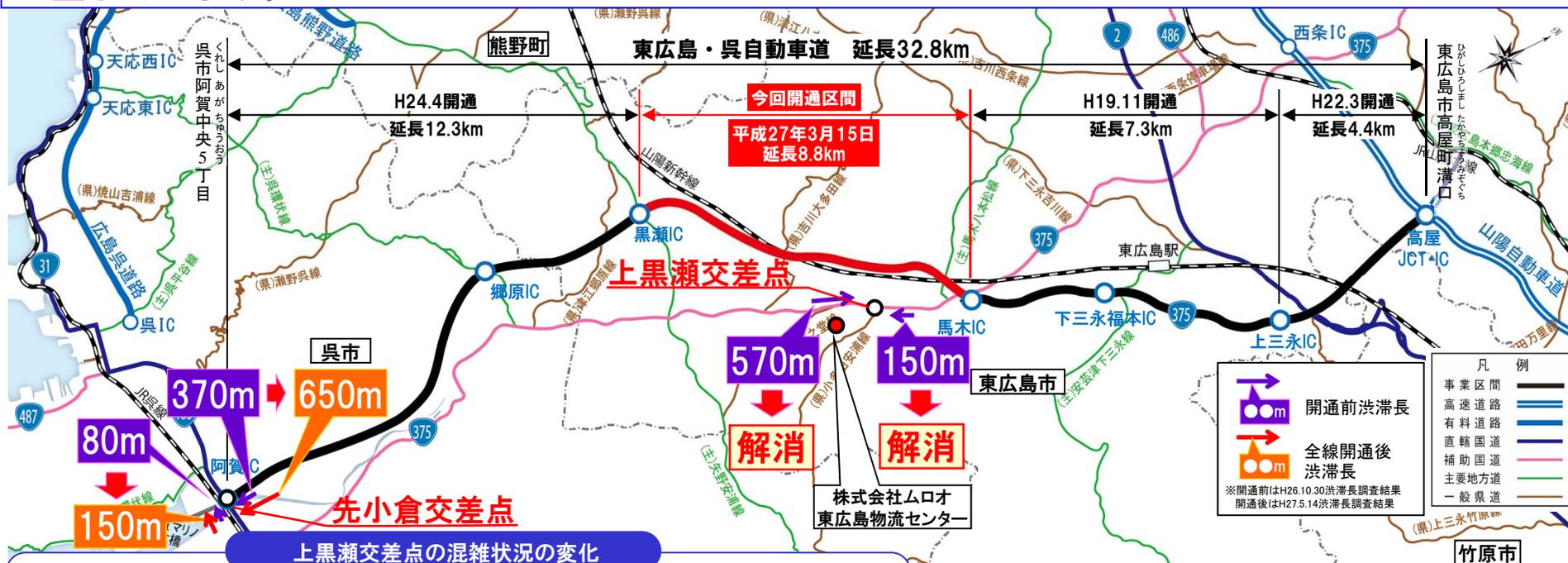


開通前 : H26. 10. 30 (木) 交通量調査結果
 開通1ヶ月後 : H27. 5. 14 (木) 交通量調査結果

整備効果① 一般国道375号の渋滞の解消 沿線地域の企業活動が効率化

東広島・呉自動車道

- ・ 今回の開通により、一般国道375号の利用交通量が減少したことにより、**上黒瀬交差点で発生していた渋滞は解消し、沿線地域の企業活動が効率化**しています。
- ・ 一方、東広島・呉自動車道と一般国道185号が接続する**先小倉交差点では、依然として渋滞が発生**しています。



開通前



開通後



～ 地域の声 ～

- ・ 呉市や東広島市からの集荷時に国道375号を利用していますが、国道375号の混雑がなくなったため**集荷からの帰社時間が読めるようになり、効率的な輸送が可能**となりました。さらに、**車両の燃費改善にも繋がっている**と思います。
- ・ また、国道375号は交通量が多く、会社への出入が非常に難しく困っていましたが、**全線開通により交通量が減ったため、出入もし易くなりました。**



(H27.6 株式会社ムロオ東広島物流センター ヒアリング結果)

整備効果② 広島空港へのアクセスが向上 エアポートバスの利便性向上

東広島・呉自動車道

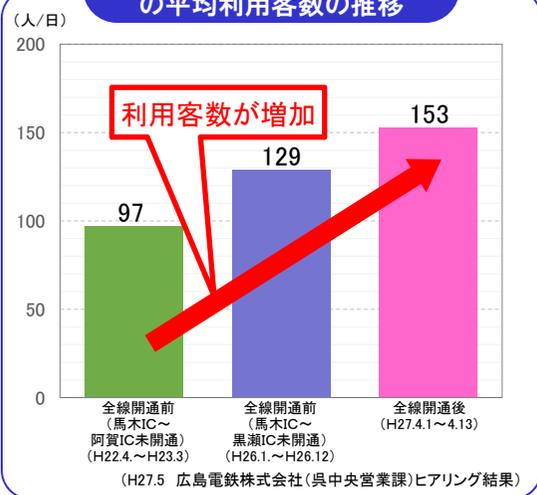
・東広島・呉自動車道の全線開通により、エアポートバス「呉広島空港線」の呉駅から広島空港までの**運行時間は約12分短縮**。定時性が確保され効率的な移動が可能となり、**利用者の増加**につながっています。



広島空港利用時の呉駅からの平均所要時間



「呉広島空港線」の1日あたりの平均利用客数の推移



～ バス会社の声 ～

・これまで定時性がネックとなっていたが、**全線開通により定時性が確保できると判断**し、人員及び車両数を増やして**増便(7便から9便に2便増便)**を行いました。

・東広島・呉自動車道の開通前はピーク時にはほぼ毎日遅れが発生していましたが、**開通後は遅れがほとんど無い上、定時性が確保でき航空機への確実な接続が可能**になっています。



(H27.5 広島電鉄株式会社(呉中央営業課)ヒアリング結果)

【参考】

木材輸送コストが削減

東広島・呉自動車道

東広島・呉自動車道による物流の効率化

- ・呉市の中国木材(株)は、集成材などを沿線の郷原工場と連携し製造しており、月2,600台程度が東広島・呉自動車道を利用して各地の取引先や自社物流センターへ製材を輸送しています。
- ・東広島・呉自動車道の利用による**輸送時間の短縮により1台あたりの往復回数が増やせ、車両台数を減らすことが可能となるなどコスト削減に繋がっています。**



木造在来軸組工法の住宅に使用される木材の生産シェア



中国木材(株)の売上高の推移



～ 地域の声 ～

・以前は陸送の割合が10%程度でしたが、近年**コスト面などを考慮して陸送へ転換**しており現在は**陸送が25%程度**になっています。

・工場間をトレーラーで1日50台程度往復しています。東広島・呉自動車道の開通により工場間の移動は**約30分から20分に短縮**し、1台あたりの往復回数が増えたため**車両台数を削減(1台削減)**できました。このため、**輸送コストの削減**に繋がっています。



(H27.3 中国木材㈱ ヒアリング結果)